

二輪車新聞

発行所
二輪車新聞社
 〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
 川口ビル 403 (3436) 1311
 編集口座 00190-7-38825番
 代表取締役 木村玄一
 大阪支社 〒530-0003 大阪市北区堂
 島2-2-23 白雲ビル406 (8341) 3997
 週刊・毎週金曜日発行
 1冊 330円(税込)
 購読料 1年間 15,400円(税込)
 www.nirin.co.jp

雑誌掲載記事集

2021年4-6月 Lambretta

1. オンラインショップ開設
2. おしゃれさが日々の移動に彩りを与えてくれる (V125紹介)
3. レトロなスタイリングに現代技術を落とし込む (V125紹介)
4. モデル紹介
 ニューモデル紹介
 アパレルにも要注目!
5. つぐみライダーの行ってミラクル! (V125旅)

二輪車新聞 5月14日号
 Lasy'sBike 86号
 U4 4月号
 U4 4月号
 U4 6月号
 MOTONAVI 111号
 タンデムスタイル 5月号

オンラインショップ開設
 モーターリスト

伊スクーター「ランプレッタ」やモーターサイクルの「ファンティック」、バイクアパレルブランド「バンドモト」などの輸入販売元であるモ



「タリスト合同会社は、取り扱いブランドのアパレルやオフショーツ製品などのオンラインショップを開設し販売を始

オンラインショップ画面

めた。
 オンラインショップは同社オフィシャルサイト内に開設。オンラインショップで販売するブランドは、モーターリストが取り扱う車両メーカー「ランプレッタ」「ファンティック」のアパレルやオフショーツ、安全性や機能性、デザインを重視したヨーロッパ発のバイクアパレルブランド「PANDOMOTO」(バンドモト)、伊

オフロードブーツのキッズモデルやフラットトラックに特化した「TCX」、英カーボンスベシヤリスト「EDGECOMPOSITES」(エッジコンポジット)、シンブルなデザインでどのようなオートバイにも合わせやすい防水バッグを展開する「ITPL」、海外オートバイメーカーの純正外装にも採用された実績のある伊オフロードブランド「ACERB

「IS」(アチェルビス)、潤滑油の「MOTUL」の製品。
 ブランド別に価格と在庫状況が確認でき、支払は代金引換、クレジットも利用可能。今後はPayの導入やファンティックのE-BIKEも購入できるようにする。
 モーターリストの公式ウェブサイトは次のとおり。
<https://motorists.jp/>



おしゃれさが
日々の移動に
彩りを与える

メーカーイチョシバイクセレクション 08
LAMBRETTA
V125SPECIAL

日々の移動から休日まで、つねにおしゃれでいたい。そんな気持ちを満たしてくれるのが、イタリアンスタイルのスクーター・ランブレッタのV-スペシャル。もちろん、スタイルだけじゃなく実用性も兼ね備えています

モーターリスト合同会社 ☎ 03-3731-2388 🌐 <https://motorists.jp>

spec ● 全長×全幅×全高：1,890×695×1,115(mm) ● 軸間距離：1,340mm ● シート高：800mm ● 車両重量：134kg ● エンジン型式・排気量：空冷4ストローク単気筒・124.7cc ● 最高出力：8.4kW(11.2ps) / 6,500rpm ● 最大トルク：10.3N・m(1.05kgf・m) / 6,500rpm ● 燃料タンク容量：6.0ℓ ● 燃費(WMTC)：- km / ℓ ● タイヤサイズ：F = 110/70-12・R = 120/70-12 ● 価格：44万円(税込) ツートンカラーは2万円高



身長：165cm
体重：46kg

①幅広いワカフカシートは最前部に腰をすすれば両足がかるうじて着きます。車体も軽いので行中は適正ポジション。停車直前にオシロの前へ一とすればまったく不安感はありません



身長：167cm
体重：53kg

②走行時、ステップボードに両足を乗せた時はやや後方、シート中央寄りに座ったほうが自然なポジション。でも停車するときは前のほうにスレないかと足が届きません

たからです。そのための国内に入ってくる台数もかなり限られてしまい、一部のコアファンのみが知る存在になってしまっています。ところがそのランブレッタが、数年前に復活をはたしたのです。それも、もとのメーカーであるイチョシエンテイが再び手がける形で、そして、その復活して発売になったモデルがこのV・スペシャルになります。

見る人が見れば、パツと見てランブレッタだとはわかる独特のスタイリングこそが、この車両最大の魅力とあっていでしょう。1950年代から70年代頭にかけて生産されていた「ヤTV」といった人気モデルのスタイリングをオマージュしつつ、現代的なデザインへと落とし込まれているのです。そのデザインを決定するにあたり、イタリアのランブレッタワークスたちの意見も取り込まれたと伝わっています。それゆえに、ランブレッタを知る人が見ても納得のいくスタイリングで、古いランブレッタを知らない人が見ても、レトロ感のある斬新なスタイルのおしゃれスクーターと感ずけるのです。

そのスタイリングを形成するボディは、昔なじみく主要部分にスチールを使ったモックアップが取り入れられています。そのため樹脂製のボディを使った車両とは一線を画す質感があるのです。またボディ全体が塗装されているので、年月が経っても日焼けによる色落ちが目につくこともありません。そのあたりは作り込みは、スタイリングを大事にするイタリアンモデルならではの感じさせられます。また実用性をさらに高められる、おしゃれなメー

カー純正のキャリアやバッテリーもラインナップされていて、それらで気軽にオリジナルリティを高められることも注目すべき点です。

走行性能に関しては、実績のあるCVTのオートマチック空冷4ストロークエンジンに、前後ディスクブレーキやフロントロード調整のできるリヤショックを組み合わせたもので、乗り手が不安になるようなことはないはず。

ここに紹介する125に加工して同じボディを用いた200(48万円)と50(40万円)もラインナップされているので、自分のライフスタイルに合わせて、3つの排気量から選べることもV・スペシャルの魅力といえます。



COLOR VARIATION



ホワイト×ブルー



③フロントボックスの容量自体は少ないですが、SV2AのUSB充電ソケットが装備されています。右サイドの黄色いスイッチは盗難防止用のスイッチになります



④速度をアナログで表示し、その下に液晶モニターが配されさまざまな情報が表示されます。バックライトの色をブルー、オレンジ、グリーンなどに変えることができます



⑤シートの先端部分は、引き出すとコンビニファクになる仕組み。荷物をおろすと、ちょうどフクラハキの後ろあたりに荷物が位置し、スペースの有効活用になります



⑥ほぼフラットなライダー用ステップボードは乗り降りしやすく、足を置く場所の自由度も高いです。タンデム用の足置きもボードタイプとなります



⑦シート下はトランクとガリタンクに占められています。トランクはホルツが1個入る程度の容量が確保されています。ガソリン給油口のキャップにもこだわりを感じます



⑧乗手のシートですが、クッション性はあります。特殊の表皮を使い分け、ジーンズのようにタグが付けられている。赤いステッチが入るお洒落な見たためポイントです

広報さんのオススメポイント

- 何よりも美しく流麗なスタイル! 1970年代の名車を現代によりみかえらせた、大胆で流麗なサイドパネルのデザインと、忠実に計算された前後のフィニッシュがそそります。
- レスポンスよくスポーティなエンジン! 乗りやすいのに驚くほどのびやかで快活なエンジンで長距離も楽しく、街中もキビキビと走ります!
- モノコックフレームに支えられたスクーターならではの高剛性ボディ! バッフルなエンジンと相まって、ワインディングさえもスイスイ走り、段差をものもしないしっぺ感が頼もしい!

使い勝手のよさや日々の移動を楽しむスクーターは高い実用性があるとともに、一部の車両はおしゃれなアイコンにもなっています。そんなおしゃれなスクーターとして国内でも知られているのがイタリアンブランドのベスパですが、海外では同じイタリアのランブレッタというブランドもその格に入ります。日本ではなじみが薄いブランドですが、それは1970年代の頭、本家がそれイタリアでの生産が終了してしまっ

#5 LAMBRETTA V125SPECIAL

かつてイタリアのスクーターブランドとして人気を博したランプレッタだが、1970年代に工場は閉鎖…。以降コピーモデルが出回ったが、2017年にその姿を再び現した。現代の技術で作り上げられたV125スペシャルの乗り味を紹介しよう

栗栖 国文
photoby Akira Shiki

- 全長×全幅×全高:1830×755×1115(mm)
- 燃料タンク:13.00L ●最高出力:7.5kW(10.2cv)/8,500rpm
- エンジン形式:排気量:空冷4ストローキッド 124.7cc ●最高出力:7.5kW(10.2cv)/8,500rpm
- 最大トルク:9.2N・m(0.9kgf・m)/7,000rpm
- 1リットルあたりの走行距離:約20.5km(税別10%・12R=120/70-12 ●価格:41万円(税別10%込))



スポーツツラン大好き「横田」が新る

現代風に解釈されたヨーロピアンスクーター

歴史あるブランドであるランプレッタが復活して4年が経過。その間、モデルチェンジを行っていないのは完成度が高い証だ。スチール製モノコックフレームを採用したボディのデザインは、レトロ感を残しつつ現代風にアレンジ。灯火類にLEDを採用し、フロントボックス内にUSB電源ソケットを備える。ハンドルスイッチが独特なので操作には慣れが必要。空冷エンジンは低回転域からトルク感があり、剛性感がある車体をスムーズに押し出す。サスペンションもよく動き、ギャップの衝撃を吸収する。ハンドリングは安定志向、速度レンジが上がっても安定した走りを見せてくれる。



①スクーターでは定番のシート下収納スペースはもちろんこのモデルにもある。ヘルメット1が入る形状で使い勝手は悪くない。内部のカバーは着脱式で、外すとエンジンにアクセスできる



②レッドシールドの内側にはインナーボックスが設けられている。キー操作でフタが開けられるタイプだが、容量はあまり大きくない。USB電源ソケットも装備している



③ヘッドライトカバー上に装備されたメーターは、アナログ式スピードメーターと液晶ディスプレイを縦レイアウト、ディスプレイのバックライトは、7色に変えられる



④剛性的な角型ヘッドライトはボディデザインに合っている。ライトにはLEDを採用していて、明るく見やすい。LEDは省電力で、夜間走行をする際にも強い



⑤フロントフォークは、ダブルスウィッシュバーを採用している。フロントフォークの調整が可能で、乗り心地を調整できる



⑥エンジンは空冷4ストローク単気筒で、8,500回転で10.1psの最高出力を発揮する。駆動はベルトドライブのCVTだ。ユーロ4の排出ガス規制をクリアしている



⑦乗降車がしやすく、足を置くスペースが広いステップスルータイプのフロアボード。滑り止めのラバーが装着されている。足を置く位置の自由度が大きいので快適だ



⑧オンロード的なスクータースタイルだからそのレダグシールドは、冬の寒さや雨から足を守ってくれて、快適な走行を提供してくれる。縦型ウインカーのバルブはLEDだ

エンジン出力に関しては取り立てて不足に感じることはなかった。スチールモノコックフレームのボディなので、軽量というわけでもない。しかし要求に従った加速はできている。ハンドリングは、素直でクセがない。タイヤは前後17インチで、径ではないものの、直進安定性はしっかりしている。ちょっとした走りにならなくても、必要に応じて、しっかり走ることができる。前部ディスクブレーキもよく動き、前後運動のCBSを採用している。運動も安定している。スピードに走行では必要量は十分に備えているが、やはり緩速にゆつたりと走る方が、このモデルには合っている。だから休日には郊外ベッティングしたくなく、容量はあまり大きくないが、シート下の収納スペースを活用して荷物を積めれば、泊りがけのツーリングも楽しめるだろう。

レトロなスタイリングに 現代技術を落とし込む

復活したイタリアンは 優雅な乗り心地を提供 ベスバと並び、イタリアの老舗スクーターとして知られているのがランプレッタだ。1947年に初のスクーターを発表したが、90年代に工場を閉鎖。以後、オリジナルモデルは生産していかなくなった。しかし2017年、オーストリアKSRグループと共同出資で、ランプレッタを復活し、ミラノM.C.シエラで新たなスクーターをお披露目した。日本国内への輸入は2018年から。現在はモーターリスト合同会社が輸入元となっている。現行ラインナップは50・125・200の3モデル。そして今回試乗車に選んだのは、V125スペシャルだ。

レトロでオーソドックスな、同レイアウトのベスバと共通する方向性が「昔ながらの」といって雰囲気はランプレッタにより強く現れている。若い女性が乗れば、オシャレだし、僕のようなおじさんが乗っても違和感がない。そういう意味では、スクーターの普遍的なスタイリングを真似しているというふうだ。

乗降性はまずいい。ステップスルーのフロアボードで、スベスベ十分にあるので、ステップに乗車できる。シートもなにかゴージャスな、レトロなイメージのランプレッタだが、アナログ式スピードメーターやデジタルディスプレイを縦に配列しな



TANDEM RUN CHECK!!

ライダー「栗栖」 フラット気味のシートは、前後長がそれほどあるわけではない。そのためタンデム走るとバックシヤーズと感ぜしやうい、それによって一体感が得やすいともいえるが、ツーリングなどで長時間走行した場合には疲労する確率が高いかもしれない



タンデム→加藤 シート、ステップともにライダーと同じ高さなので、ステップは足を置いた際にライダーとあたってしまいがち。グラブバーがないので若干踏み込みづらさはあるが、ライダーとの距離感が近いので、ホールドはできる。乗降車に関してはしやすかった

GOOD POINT

スクーターといえども原付二種クラスになるとディスクブレーキの採用があたり前だ。ランプレッタV125スペシャルも当然。前後ブレーキはディスク式だ。しかもローターはφ220mmと大径で、メッシュホースを装備している。実際かなり強力な動きを示す。さらに前後運動のコンビブレーキ(CBS)としているので、制動力は高い



足つき性

①シート高は700mmと高めの新顔だ。そのため身長170cm程度までの平均的な体格の人でも、両足のつま先が着けられる程度だ。シート形状も足が着けやすいイメージはないといわれて、体格が小柄な女性にはちょっと難しい



Uター

①エンジントルクがあるし、ハンドリングも素直なので、Uターンなどの小回りに苦労することはない。ホイールベースが長めなので回転半径は多少大きくなるが、住宅街などのせまい路地でも問題なく方向転換できる



乗車姿勢

①フロアボードとシートの着座位置との間隔が大きい。そのため乗車した際にヒザの曲りが緩やかで、実に快適。また上体も垂直になるので、全体的にゆつたりと座っている感覚だ。なのでポジションは良好といえる



取りまわし

①車両重量は不明だが、押し歩きでは若干重さを感じる。とはいえず、取りまわしは悪くない。ただし、肯定するほど悪いわけではない。ハンドルの切れ角も十分だ。このクラスのスクーターとしては標準的なものだろう

V125SPECIALの ソフト面をチェック!!

センタースタンドに関しては女性ライダーを代表して「加藤」が担当。それ以外の項目は、メインライダーの栗栖が執筆している(身長=179cm・体重=74kg)



センタースタンド

①グラブバーがないため、シート下をつかむしかないが、車体の重みを感じつつもセンタースタンドがけは簡単で、体重をかけるだけであらう。センタースタンドをかけるために車体を直立にした際の安定感が瞬時に得られるのもポイントが高い

U4
(クレタ)
21年4月号

LAMBRETTA V50 SPECIAL



おしゃれイタリアンスクーターの末弟

イタリアの老舗スクーターブランド・ランブレッタは原付一種となる50スペシャルをラインナップに加えている。125や200をベースとしているため、国内原付一種とはひと味違うサイズ感が魅力のひとつ。加えて往年のマシンを彷彿させるスタイルも特徴だ。ただし兄貴分が吸気系にフューエルインジェクション&前後ディスクブレーキだが、50はキャブレター・リヤ=ドラムブレーキになる。

SPEC. ●全長×全幅×全高:1,890×735×1,115(mm) ●軸間距離:1,340mm ●シート高:770mm ●車両重量:1kg ●エンジン型式・排気量:空冷4ストローク2バルブ単気筒・49.5cm³ ●最高出力:2.6kW(3.5ps) /7,500rpm ●最大トルク:3.4N・m(0.34kgf・m) /6,500rpm ●燃料タンク容量:6±0.2ℓ ●タイヤサイズ:F=110/70-12・R=120/70-12 ●価格:39万円(税10%込)

PRODUCT

ランブレッタはスクーターだけじゃない
アパレルにも注目!

P16の「GEARS」でも紹介したランブレッタブランドのアパレルから、ストレートレッグジーンズを紹介。タイトめなジーンズながら、ストレッチ性があるのでバイク乗車時も快適。ランブレッタのアパレルとはもちろん上手にマッチする。フロントのボタンやポケットには、さりげなくブランドロゴが入るのもポイント。問合せ=モータリスト



MOTONAVI
21年4月(111)号



LAMBRETTA LIGHT WEIGHT PARKA

ランブレッタ・ライトウェイトパーカ

ランブレッタを販売するモータリストより、フルレングスのロゴ入りライトウェイトパーカが発売。映画「さらば青春の光」にて主人公らが着用していた、60年代のイギリス・ロンドンのモッズスタイルの象徴といえる、ダークカーキの一端で、裏地にはメッシュ生地を採用しているので暖かい時期でも着やすい。価格は13,500円。問合せ=モータリスト

LAMBRETTA V200SPECIAL

フラッグシップならではの豪華装備

現行ランブレッタの中でもっとも大きい排気量のエンジンを搭載するのがV200スペシャルだ。車名は200となっているが、排気量は168.9ccになる。基本的な車体構成はシリーズ共通だが、パワーがあるぶん、リヤショックがツインショックになったり、ブレーキにABSが装備されているのが特徴だ。

SPEC. ●全長×全幅×全高:1,890×735×1,115(mm) ●軸間距離:1,340mm ●シート高:770mm ●車両重量:1kg ●エンジン型式・排気量:空冷4ストローク単気筒・168.9cm³ ●最高出力:8.9kW(12.1ps) /7,500rpm ●最大トルク:12.5N・m(1.2kgf・m) /5,500rpm ●燃料タンク容量:6±0.2ℓ ●タイヤサイズ:F=110/70-12・R=120/70-12 ●価格:46万円(税10%込)



LAMBRETTA V200SPECIAL

フラッグシップならではの 装備を備える



1940年代にスクーターを発表したイタリアのブランド・ランブレッタは、世界各地で人気を博していたが、1970年代の労働争議に巻き込まれて工場は閉鎖……。しかし根強い人気があったため、不正コピーモデルが出回ったという。創始者の一族がそれらに製造や名称使用の差し止めに着手し、2017年ランブレッタを復活させた。現行ランブレッタの中でもっとも大きな排気量のエンジンを搭載するのがV200スペシャルだ。200となっているが、排気量は169ccになる。基本的な車体構成が共通の125と50の設定もあるが、200はパワーがあるぶん、リヤショックがツインショックになっていたり、ブレーキにABSが装備されているなど、フラッグシップらしい装備が与えられているのが特徴だ。

SPEC. ●全長×全幅×全高:1,890×695×1,115(mm) ●軸間距離:1,340mm ●シート高:800mm ●車両重量:1kg ●エンジン型式・排気量:空冷4ストローク単気筒・169cm³ ●最高出力:9kW(12.2ps) /7,500rpm ●最大トルク:12.2N・m(1.2kgf・m) /6,000rpm ●燃料タンク容量:6ℓ ●タイヤサイズ:F=110/70-12・R=120/70-12 ●価格:48万円(税込)

U4
(クレタ)
21年6月号

LAMBRETTA

①モータリスト合同会社
②03-3731-2388
③<https://motorists.jp/brand/lambretta/>

V125SPECIAL/V200SPECIAL

●価格/発売日:125=44万円/発売中
200=48万円/発売中

125と200にそれぞれの 専用色が設定される

2017年に復活をとげたイタリアの名門ランブレッタ。日本には2018年からVシリーズが導入されている。約3年の間で着実にユーザーを増やしてきた。このたび、グレーのボディカラーのサイドにブラックのラインをあしらった125専用色として登場。またこれまでにオレンジのラインナップはあったが、新たに200の専用色となったとの発表が、これで125が全6色(在庫限りであるが、ツートンカラーの“バイカラー”も2色あり)、200が全4色となった。またボディカラーによってシート表皮のカラーが違うので、この点も加味して、理想の1台を手に入れてほしい。



New Model
Informations For
U4

見たい! 行きたい! 走りたい!

つぐみライダーの 行ってミラクル!

Profile

普段は女優をしています。大好きな仮面ライダーに出演するのが目標で、競輪のレッスンに通ったり、大型二輪の免許を取ったのも夢を叶えるため...。他にもモデルやナレーションのお仕事をしたりと幅広く活動しています!! 私の最新情報は随時SNSでお知らせしているので、そちらもフォローしてくださいね!!
インスタ: purinn_122, twitter: @tsugumi_sakurai オンラインショップアプBASE 板井つぐみオリジナルショップ:ばななし!<\/p><\/div>
<\/div>

今日の気になる! つぐロード #02

<\/div>

便利or不便!? 7本の道が交差する“七辻交差点”!

<\/div>

東京都大田区にある、7本の道路が交わるとても不思議な交差点。4〜5本の交差点はよく見かけるけど、7本以上の道が重なっているのはかなりレア?! はたして便利なのか不便なのか...。実際に走って検証していきます!

板井つぐみ:文
by Tsugumi Sawara

<\/div>

① 横い道沿いに住宅や商店が続き、先ほどの交差点なんてある?と半信半疑。七辻入口の案内表示を見つけたら早速進入していくよ〜

<\/div>

② 最寄り駅は京急本線の雑色駅。目の前の第一京浜(国道15号)を走って東六郷1丁目交差点の東側に入っていくよ! 交通量も歩行者も多いから注意。右折待ちをしているとクルマが真横をビュンビュン走り抜けていくから少しハラハラした〜

<\/div>

③ 本日はモータリスト同好会社さんからレッツゴー! 相棒は対面のランプレッタV125くんだよ! 交差点も走り心地も楽しめ〜!

<\/div>

④ 7本の道路のうち4本は進入、道出ののりかたもそれぞれになって、大変や〜(笑)

<\/div>

⑤ ついにご対面! これが七辻交差点か〜! キレイに7本の道路が交差してるんだけど、ひと気がないと不思議で怪しげ... (笑)

<\/div>

⑥ そのほかの気になるトンネル紹介

<\/div>

●東京都江戸川区にある“菅原橋交差点”
なんと七辻交差点を上回る11交差点! (笑) ここには信号があるみたいだけど、11本も道があったらわたしは迷っちゃう! 検証しに行かなきゃ〜!

<\/div>

⑦ 感想
信号がなく道路の優先順位がわかんなくて戸惑ったし、本当に事故がないの? と思っていたけど、複雑な交差点だからこそ慎重な運転になりゆずり、合いの気持ちが生まれるんだなあと思いました! ちなみに1度の運転で7本すべてを通ってこれるか挑戦したんだけど、わたしは方向音痴だから同じ道を2回も通っちゃったよ〜(笑)。挑戦者求ム!!!

<\/div>

⑧ 平日なのに出入りが激しい。クルマよりも自転車が圧倒的に多い。子どもたちも学校帰りの子もたくさんいるから気を付けなきゃ!

<\/div>

⑨ 何より驚いたのがこんな複雑な多岐路なのに信号が1つもないこと! みんなのゆずり合いによって何事もあいだ事故がないんだって。わたしもゆずり合いを体験して、あったかい気持ちになったよ!

<\/div>

今日の相棒ちゃん★

ランプレッタ V125 Special

イタリア生まれのスクーターで、前回紹介したベスパちゃんと同じスチールモノコックボディだからとっても高級感があったのよ! 白黒のツートーンかと思いきやじつはブルーで、光に当たるとはっきり見えたよ! シート高は770mmで両足・片足ともに不安なく支えられるし、車体が軽いから取りまわしのしやすさがピカイチ! 200と共通の車体だからしっかりした感があったよ!

⑩ 大好きなタイヤ公園(西六郷公園)でおやつタイム! あったかいしおいしいし...最高! 強風の日には砂ほこりに注意やお!

⑪ まだまだ行くよ!

⑫ かわいい飛行機と一緒に写真も撮って大満足! ナイスタイミングやね〜!

⑬ 向かったのは穴守稲荷神社。招福の御神砂をいただいて、高〜いところにある御稲荷神社に登ったよ! どこにおるかわかる?

⑭ 雑色商店街の“肉のミソ汁”をゲット! 半熟卵が入ってる〜! ホカホカうらうらつまみ食い!

⑮ バイクに乗ってるからついでにパンナコッタも食べて、Mサイズ!

今回のMAP

⑯ わたしは安定のばな活〜!

⑰ 懐かしい雰囲気! ドーナツ屋さんを発見!

⑱ 3個100円なんてお得すぎへん? プレ〜ン、コア、シナモンをゲット! 甘党だからシナモンが一番おいしかったよ〜!

⑳ 最後の決めりのつくづくフィッシング! 10cmの大好きなカサゴっちが釣れたよ〜!

㉑ 雑色商店街の“肉のミソ汁”をゲット! 半熟卵が入ってる〜! ホカホカうらうらつまみ食い!

095

094